

# 玉野市営墓地と樹木墓地

2021年9月18日

太田隆次

中西さんの原稿に、たまたまハイク中に見かけられた玉野市深山（みやま）公園に隣接する市営墓地の感想と、お住まいの岡山県赤磐市への公営の樹木墓地の提案がありました。

## 1. 玉野市営墓地

決して弁解ではありませんが、かつて玉野市長から直接聞いた話では、市営墓地を新しく建設した理由として、玉野地区は古来、土葬の慣習があつて私の大叔母も土葬で大きな樽の中に入れて家から墓地まで縁者たちが担いで運びました。まるで映画みたいで、まだ中学生だった私に気味悪かったです。

市長の言うには道徳上は勿論、一体毎に先祖伝来の墓地では用地がなくなりつつあり、条例で私的な土葬禁止、公営による火葬後の家単位の公営墓地に、となりました。あおりをくってごらんのように一家族一墓地の乱立となりました。私の実家も5年前に両親以下、市営墓地を購入し一体にまとめた所です。

この際、両親までの先祖以来の墓地は登記所で確認した所、登記したままです。多分放棄することになると思います。

## 2. 赤磐市公営の樹木墓地

ご提案が実現することを祈ります。

今の所、公営で樹木墓地があるのは東京小平市と横浜市だけらしいですが、余計なことながら、ご参考までに。

<https://www.lifedot.jp/jumokuso-public/>

## 3. 私が植えた「樹木墓地」です

私達はこちらに永住を決めた時、大阪から伝統的な墓を移して西暦表示の横型の無宗派の芝生墓地に建て替えました。

その後、樹木墓地こそが最も自然な姿と思うようになりましたが、かといってまた新しい墓を建てる気持ちはありませんでした。

2007年の偶然の機会に、神社の境内に桜を植えさせて貰うことになり、八重桜が多い神社の希望で、「枝垂れ桜」にしました。墓石より末長く生きてくれるでしょう。

笑われるに決まっていますが、恐れ多いことながら西行法師のあの和歌を勝手に思い出したからです。

「願わくは 花のしたにて 春死なん そのきさらぎの 望月の頃」

私も自分の没後、この枝垂れ桜の下で生前の友達とくみ交わせればという妄想が浮かびます。

2007年に1メートルほどの苗木だったのが、2012年にはこんなに8メートル近くまで大きくなりました。生物の力に驚くばかりです。あやかりたいです。





参考：湯原（ゆばら）神社の境内です。

水上中学校への道路案内が入口です 📍

ずっと上の方に私が植えた枝垂れ桜が少し見えます



この階段を登ります 斜面にシバザクラが綺麗です🎵、右上が私の植えた「しだれ桜」です。



鳥居です 📍

境内の手水舎です💧





狛犬です🐶🐶

私のしだれ桜と神社の八重桜の競演です。



拝殿です🙏